

羅 針 盤

第 6 号

令和5年5月22日（月）



◆ 校訓『共に学び 共に生きる』

城陽中学校の校訓、それは、「共に学び 共に生きる」です。生徒の皆さん一人ひとりが、自ら主体的に考え、今なすべきことをしっかりと見据えて、日々の学校生活を有意義に過ごしてもらいたいと思います。仲間とのしっかりとした繋がりを感じとりながら、学級での学習活動や放課後の部活動、そして多くの学校行事を通じて共に学び続ける力をしっかりと育んでもらいたいと思っています。この「共に学び 共に生きる」という校訓をもとにして、「たゆまなく学ぶ人間に」、「たくましく自己を築きあげる人間に」、そして、「仲間を大切にし、相手の気持ちを考えられる人間に」という3つの学校の教育目標の実現に向けて、学校での教育活動は進められています。目標に掲げるだけでなく、3年間の城陽中学校での学校生活の中で、生徒の皆さん一人ひとりにしっかりと培ってもらいたい内容です。日常での学校生活の節目となるようなとき（学期末の振り返りのときや、あるいは、長期の休業期間を終えた後の学期初めでの目標を設定するときなど）には、自分自身がどれくらい成長することができているのかといった視点で、学校の教育目標についても再確認する時間を是非ともとってもらいたいものです。成長した自分を見つめなおすことで、更なる高みへと目標を見据えて、日々の学校生活での充実感が高まり、全校集会でも何度もお話ししてきた「自主・自立の確立」が構築されていき、「社会貢献できる生徒」へと成長してってくれるものだと思っています。校訓である「共に学び 共に生きる」を学校生活での基軸に据えることで、自らが輝ける未来をつくりだし、しっかりと歩いていくことができる力を蓄えていくことができるはずです。そのために、城陽中学校では全教職員が一丸となって皆さんをしっかりと支援していきたいと考えています。自分自身が成長していくイメージを持って、豊かに、そして、共に生きていくための「考える力」を学校生活の中で身に着けていってください。



◆ 日日是好日（にちにちこれこうじつ）

「日日是好日（にちにちこれこうじつ）」は、禅（ぜん）の言葉としては「にちにちこれこうにち」と読むのが正しいともされていますが、文字通りに言うとその言葉は、「毎日毎日が素晴らしい」といった意味で、毎日が良い日となるように心がけるべきだといった解釈をする人もいれば、さらに進んで、そもそも日々について良し悪しを考えて一喜一憂（いっきいちゆう）することが誤りであって今この時が大切であるといった考えの人、また、あるがままを良しとして毎日を過ごすことが大事であると捉えている人もいます。いずれにしても、一日一日を後悔することなく「かけがえのない日」として過ごすことができれば、それは誰にとっても、とても幸せなことであり、そうなるように心がけて、有意義な時間を過ごすことで、一日が尊く感じられることを伝えようとしている言葉ではないかと思います。充実した学校生活を過ごすためにも、「日々是好日」の考えを持つことはとても大事なことではないでしょうか。